

FortiGate-500A の LED 表示

LED	状態	説明
電源	グリーン	FortiGate-500A の電源がオンになっています。
	オフ	FortiGate-500A の電源がオフになっています。
LAN (L1, L2, L3, L4), 1, 2, 3, 4, 5, 6	黄色	正しいケーブルが使用され、接続機器の電源がオンになっています。
	黄色点滅	トラフィック中です。
	グリーン	インタフェースが接続されています。 ・ LAN (L1, L2, L3, L4), 1, 2, 3, 4 が最高 100 Mbps で接続されています。 ・ 5 および 6 が最高 1000 Mbps で接続されています。
	オフ	No link established.

工場出荷時設定

NAT/ ルートモード		トランスパレントモード
ポート 1 インタフェース	192.168.1.99	管理用 IP 10.10.10.1
ポート 2 インタフェース	192.168.100.99	管理者アカウント設定
ポート 4 インタフェース	10.10.10.1	ユーザ名 admin
		パスワード (なし)

FORTINET FortiGate-500A



クイックスタートガイド

© Copyright 2004 Fortinet Incorporated. All rights reserved.

商標
本書記載の製品は、各権利者の所有する商標または登録商標です。

準拠規格
FCG Class A Part 15 CSA/CUS
2004 年 11 月 10 日

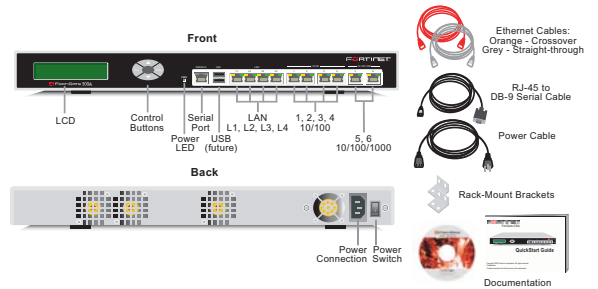
テクニカルサポートは、<http://www.fortinet.com> をご覧ください。

01-28005-0103-20041110

1 パッケージの内容を確認する

パッケージに次が揃っているかどうかを確認してください。

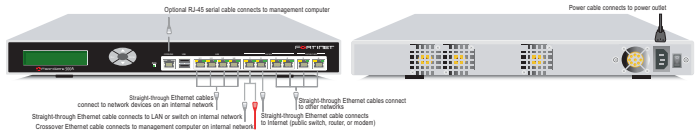
コネクタ	タイプ	スピード	プロトコル	用途
LAN (L1, L2, L3, L4)	RJ-45	10/100Base_T	イーサネット	最高 4 台のデバイスもしくは内部ネットワークに接続するための 4 ポートスイッチ。
ポート 1	RJ-45	10/100Base_T	イーサネット	デフォルトで内部ネットワークに接続
ポート 2	RJ-45	10/100Base_T	イーサネット	デフォルトでインターネットに接続
ポート 3/4	RJ-45	10/100Base_T	イーサネット	他のネットワークに接続、または他の HA 用 FortiGate-500A に接続 (オプション)。CD-ROM に収録されている説明書を参照してください。
ポート 5/6	RJ-45	10/100/1000 Base-T	イーサネット	他のネットワークに接続 (オプション)。
CONSOLE	RJ-45	9600 bps	RS-232 シリアル	管理用コンピュータに接続 (オプション)。コマンドラインインタフェース (CLI) へのアクセスとなります。



2 FortiGate-500A を接続する

FortiGate-500A を電源コンセントとネットワークに接続します。

- FortiGate-500A を安定した場所もしくは 19 インチのラックに設置します。過熱を防ぐため両側に 3.75cm のスペースを確保してください。
- 電源コードとネットワークケーブルを接続する前に、裏面の電源スイッチがオフになっていることを確認します。



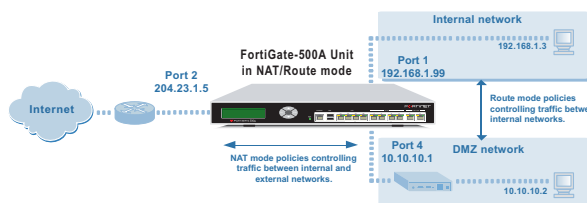
3 コンフィギュレーションプラン

FortiGate-500A のコンフィギュレーションを始める前に、既存のネットワークにどのようにインテグレーションしていくか、プランを立てる必要があります。コンフィギュレーションは NAT/ ルートモード (デフォルト)、トランスパレントモードのどちらの動作モードを選択するかによって決定されます。

NAT/ ルートモード

NAT/ ルートモードでは、FortiGate-500A は接続されているネットワークから見える状態になります。インタフェースは全て異なるサブネット上になります。ポート 1 およびポート 2 に IP アドレスを設定してください。オプションとしてポート 3 から 6 までのインタフェースを設定することもできます。

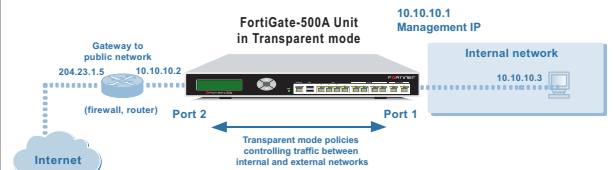
FortiGate-500A をプライベートネットワークと公共ネットワークの間のゲートウェイとして使用する場合は通常、NAT/ ルートモードを使用します。NAT/ ルートモードをデフォルトとするコンフィギュレーションでは、FortiGate-500A はファイアウォールとして機能し、そのポリシーが FortiGate-500A を経由するコミュニケーションを管理します。



NAT/ ルートモードの場合、ファイアウォールポリシーは NAT モードもしくはルートモードで作動します。NAT モードの場合は、ネットワークアドレスを変換してから IP パケットを宛先ネットワークに送りますが、ルートモードでは変換はありません。FortiGate-500A のデフォルト NAT モードポリシーは単一で、内部ネットワーク上のユーザはインターネットのコンテンツに安全にアクセス、ダウンロードが可能です。他のポリシーを設定するまでは、これ以外のトラフィックは FortiGate-500A を経由できません。

トランスパレントモード

トランスパレントモードにすると、ネットワークには FortiGate-500A が見えません。インタフェースはすべて同じサブネットに置かれます。また、管理用 IP アドレスを設定するだけでコンフィギュレーションを変更できます。既存のファイアウォールまたはルータの後にあるプライベートネットワーク上で FortiGate-500A を使う場合は、一般的にトランスパレントモードにします。デフォルトにトランスパレントモードを設定すると FortiGate-500A はファイアウォールとして機能し、ファイアウォールポリシーを設定するまでは、トラフィックは FortiGate-500A を経由できません。



FortiGate-500A は最高 5 つのネットワークセグメントに接続することができ、その間のトラフィックを制御します。

トラフィックの管理方法、および HA、ウイルス対策、ウェブコンテンツフィルタ、スパムフィルタ、侵入防御システム (IPS)、仮想プライベート通信網 (VPN) の設定方法についての詳細は、CD-ROM に収録されている各説明書を参照してください。

4 コンフィギュレーションツールの選択

FortiGate-500A の 3 つのコンフィギュレーションツールからどれかひとつを選びます。



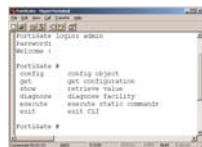
ウェブベースマネジャー/セットアップウィザード

FortiGate ウェブベースマネジャーのセットアップウィザードが段階を追って初期設定を指示します。

管理者用パスワード、インタフェースアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスを設定します。オプションとして、内部サーバを NAT/ルートモードに設定するためにセットアップウィザードを使うこともできます。

必要条件

- FortiGate-500A と管理用コンピュータ間のイーサネット接続
- 管理用コンピュータ上に Internet Explorer バージョン 6.0 以上



コマンドラインインタフェース (CLI)

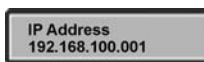
CLI は多彩な機能を持つ管理ツールです。

このインタフェースを使用して管理者用パスワード、インタフェースアドレス、デフォルトゲート

ウェイアドレス、DNS サーバアドレスを設定します。高度な設定については、CD-ROM に収録されている各説明書を参照してください。

必要条件

- FortiGate-500A と管理用コンピュータ間に RJ-45 リアル接続
- 管理用コンピュータ上にターミナルエミュレーション用アプリケーション (HyperTerminal for Windows)



コントロールボタンと LCD

FortiGate-500A の正面にあるコントロールボ

タンと LCD を使用して内部インタフェース、外部インタフェース、ポート 1(DMZ) インタフェースおよびデフォルトゲートウェイアドレスを設定することができます。他のインタフェースアドレスおよび DNS サーバアドレスの設定にはウェブベースマネジャーまたは CLI を使用します。

必要条件

- FortiGate-500A 本体を直接操作できること

5 設定内容の情報をまとめる

次の表を使用して FortiGate-500A の設定内容を記録します。

NAT/ ルートモード

Lan	IP:	Netmask:
ポート 1	IP:	Netmask:
ポート 2	IP:	Netmask:
ポート 3	IP:	Netmask:
ポート 4	IP:	Netmask:
ポート 5	IP:	Netmask:
ポート 6	IP:	Netmask:

内部インタフェースの IP アドレスおよび Netmask が内部ネットワークにおいて有効であることを確認してください。

トランスペアレントモード

管理用 IP:	IP:	Netmask:
	IP:	Netmask:

管理用 IP アドレスと Netmask が FortiGate-500A の管理に使用するネットワークに対して有効であることを確認してください。

一般設定

管理者パスワード:	
ネットワーク設定:	デフォルトゲートウェイ: _____ プライマリ DNS サーバ: _____ セカンダリ DNS サーバ: _____

FortiGate を経由してインターネットにアクセスする場合はデフォルトゲートウェイが必要です。

6 FortiGate-500A を初期設定する

1. FortiGate-500A のポート 1 インタフェースを管理用コンピュータのイーサネットポートに接続します。装置同士を直接接続する場合はクロスオーバー イーサネットケーブルを使用します。ハブまたはスイッチ経由で接続する場合は、ストレートスルー イーサネット ケーブルを使用します。

- 管理用コンピュータが FortiGate-500A の内部インタフェースと同じサブネットに配置されるように設定します。管理用コンピュータの IP アドレスを 192.168.1.2 に、Netmask を 255.255.255.0 にそれぞれ変更して設定します。
- FortiGate のウェブベースマネジャーにアクセスするには、Internet Explorer を起動し、https://192.168.1.99 にブラウザします。([https://] には S が入っていますので注意してください。)
- [名前] フィールドに「admin」と入力して、[ログイン] を選択します。

ウェブベースマネジャーとセットアップウィザード

NAT / ルートモード

FortiGate-500A の初期設定にセットアップウィザードを使用する場合は、Easy Setup Wizard ボタンを選択し、プロンプトに従って選択



管理者パスワードの変更

- System > Admin > Administrators の順に選択します。
- 管理者用の Change Password を選択し、新たなパスワードを入力します。

インタフェースの設定

- System > Network > Interface の順に選択します。
- 各インタフェースに編集アイコンを選択し、初期設定します。
- インタフェースのアドレッシングモードを設定します (詳細はオンラインヘルプを参照してください)。
 - 手動アドレッシングの場合は、インタフェースの IP アドレスと Netmask を入力してください。
 - DHCP アドレッシングの場合は、DHCP その他必要な設定を選択してください。
 - PPPoE アドレッシングの場合は、PPPoE を選択し、ユーザ名、パスワード、その他必要な設定を入力してください。

プライマリ/セカンダリ DNS サーバの IP アドレス初期設定

- System > Network > DNS の順に選択し、プライマリ/セカンダリ DNS の IP アドレスを入力し、Apply を選択します。

デフォルトゲートウェイの初期設定

- Router > Static の順に選択し、静的ルートの編集アイコンを選びます。
- デフォルトゲートウェイの IP アドレスをデフォルトゲートウェイに設定し、OK をクリックします。

トランスペアレントモード

NAT/ ルートモードからトランスペアレントモードへの変更

- System > Status の順に選び、Operation Mode の横の Change をクリックして OK をクリックします。
- 管理用コンピュータの IP アドレスを 10.10.10.2 に変更し、Internet Explorer を使用して https://10.10.10.1 にブラウザします。

セットアップウィザードを使って FortiGate-500A を初期設定する場合は、Easy Setup Wizard ボタンを選択し、プロンプトに従ってください。

管理者パスワードの変更

- System > Admin > Administrators の順に選択します。
- 管理者用の Change Password を選択し、新たなパスワードを入力します。

管理用インタフェースの設定

- System > Network > Management の順に選択します。
- 管理用 IP アドレスおよび Netmask を入力します。
- 必要な場合は管理者アクセスオプションを選び、OK をクリックします。

プライマリ/セカンダリ DNS サーバの IP アドレス設定

- System > Network > DNS の順に選択し、上記に従って登録したプライマリ/セカンダリ DNS の IP アドレスを入力し、Apply を選択します。

デフォルトゲートウェイの設定

- System > Network > Management の順に選択します。
- デフォルトゲートウェイの IP アドレスをデフォルトゲートウェイに設定し、OK をクリックします。

注意: ポート 1 インタフェースの IP アドレス (NAT/ルートモードの場合) または管理用 IP アドレス (トランスペアレントモードの場合) を変更する場合は、このアドレスを使用してウェブベースマネジャーとセットアップウィザードに再接続する必要があります。また管理用コンピュータの IP アドレスを変更して新 IP アドレスと同じサブネット上に来るようにしてはならない場合もあります。

コマンドラインインタフェースを使用する

1. シリアルケーブルを使用して FortiGate Console ポートを管理用コンピュータのシリアルポートに接続します。
2. 管理用コンピュータ上でターミナル エミュレーション用プログラム (HyperTerminal) を起動し、次のように設定します。ボーレート (bps) : 9600、データビット : 8、パリティ : なし、ストップビット : 1、フロー制御 : なし
3. Login: のプロンプトが表示されたら、admin と入力し、Enter を 2 回押します (パスワード不要)

NAT/ ルートモード

1. FortiGate-500A ポート 1 インタフェースを設定します。

```
config system interface
edit port1
set mode static
set ip <intf_ip> <netmask_ip>
end
```

2. 同様に、ポート 2 インタフェースなど各インタフェースを設定します。

```
config system interface
edit port2
...
```

3. LAN インタフェースを設定します。

```
config system interface
edit lan
...
```

4. プライマリ/セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

```
config system dns
set primary <dns-server_ip>
set secondary <dns-server_ip>
end
```

5. デフォルトゲートウェイを設定します。

```
config router static
edit 1
set gateway <gateway_ip>
end
```

トランスペアレントモード

1. NAT/ ルートモードからトランスペアレントモードに変更します。

```
config system global
set opmode transparent
end
```

2. しばらく待ち、プロンプトが表示された時点で再度ログインします。

3. 管理用 IP アドレスを設定します。

```
config system manageip
set ip <mng_ip> <netmask>
end
```

DNS サーバ IP アドレスを設定します。

```
config system dns
set primary <dns-server_ip>
set secondary <dns-server_ip>
end
```

4. デフォルトルートを設定します。

```
config router static
edit 1
set gateway <gateway_ip>
end
```

FortiGate-500A の再設定

ネットワーク設定の変更を誤り、FortiGate-500A に接続できない場合は、再起動して接続するか、いったん工場出荷時設定に戻してから設定し直してください。

- 再起動するには、**System > Maintenance > ShutDown** の順に選び、Reboot を選択します。 CLI: execute reboot
- リセットするには、**System > Maintenance > Shutdown** の順に選び、Reset to factory default (工場出荷時設定に戻る) を選択します。 CLI: execute factoryreset

7 コンフィギュレーションの完了

これで基本設定は完了。ネットワークはインターネット経由の脅威から保護されます。設定のオプションについての詳細は、オンラインヘルプもしくは CD-ROM に収録されている説明書を参照してください。

テクニカルサポート

Fortinet テクニカルサポートウェブサイト : <http://support.fortinet.com>

Fortinet 電子メールサポート :

amer_support@fortinet.com	米国、カナダ、メキシコ、中南米のお客様
apac_support@fortinet.com	日本、韓国、中国、香港、シンガポール、マレーシアその他アジア各国およびオーストラリアのお客様
eu_support@fortinet.com	イギリス、スカンジナビアおよび欧州各国、アフリカ、中東のお客様